

普及だより



庄内総合支庁産業経済部 農業技術普及課 / 同 産地研究室

〒999-7601 鶴岡市藤島字山ノ前51

TEL:0235(64)2103

〒998-0112 酒田市浜中字八窪1

TEL:0234(91)1250



ストック現地検討会

ストックのオールダブル系品種は、八重鑑別が不要で、省力化と出荷率の向上が期待できます。

導入推進に向け、11月10日に現地検討会を開催しました。

新たな年に、「未来は現在にあり」

経営企画主幹 伊藤 聡子

新年明けましておめでとうございます。

新たな夢や希望、具体的な作付計画や目標に思いをはせておられると思います。

去年は、6月の強風や低温、7月中旬～8月の集中的な降雨、8月の日照不足などがあり、生育に大きな影響を及ぼしました。また、新型コロナウイルス感染拡大による消費動向の変化や円安に伴う肥料・資材の高騰と農業経営はさらに厳しい情勢になりました。気象変動は毎年発生する状態にあり、経済情勢もしばらく継続するものとして、それを前提に対策を事前に講じていくことが必要となります。

冒頭の言葉は、現状を鑑み、「万策尽きた」「何をやってもだめだ」とあきらめず、現状に対する対策は

行いつつ、原因を分析し、次に必要なことを地道に実行していくことが、新年の実りにしっかりつながるとの思いで記しました。

当課では、農業者や関係機関と共に未来を支える新規就農者の技術習得と就農定着に向けた支援のほか、衛星リモートセンシングを活用した「つや姫」の生育診断、ハウスきゅうりの環境モニタリング、トヨタ「カイゼン」方式を活用した干し柿生産などによる産地強化、各品目の生産性向上を推進しています。

農業者のみならず、輝く未来に向け、確固たる現在を構築していただけるよう、つながりを大切に、関係機関と共に支援してまいります。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2022 受賞おめでとうございます！

大高根農場記念山形県農業賞

小野寺 美佐子さん
(鶴岡市福田)



有機や減農薬で育てたお米や野菜を食べて元気になれる場として、農家民宿「母屋」や農家レストラン「菜あ」を開設し、多角的な農業経営を実践。地域の食文化発信や後継者育成など県指導農業士としても貢献しています。

山形県ベストアグリ賞

鈴木仁さん・厚子さん (鶴岡市丸岡)



水稻とスプレーギクを主体に安定した複合経営を確立しています。また、鶴岡市川農業士会や山形つや姫マイスターの会の会長を務めるなど、担い手育成や高品質・良食味米生産に貢献しています。

今年度、新たに認定された農業士の皆さんをご紹介します

山形県指導農業士



鈴木 繁和さん
(鶴岡市羽黒町)
水稻+ブルーベリー



小野寺 太さん
(鶴岡市東岩本)
促成山菜+沖田ナス



阿部 良明さん
(庄内町横山)
水稻+野菜

山形県青年農業士



鈴木 俊将さん
(鶴岡市中京田)
(有)ティーズファクトリー 取締役
水稻+菌茸+野菜+清涼飲料水製造



岡部 和久さん
(鶴岡市羽黒町)
(農)庄内おぼこ農場 理事
水稻+野菜

開催案内

2023米づくりフォーラムin庄内
～一歩先行く庄内稲作をめざして～

日時：令和5年1月10日(火)13:30～
場所：いろり火の里 なの花ホール
(三川町横山)
定員：約200名

庄内砂丘メロン生産者 研修大会2023

日時：令和5年1月25日(水)13:30～
場所：いろり火の里 なの花ホール
(三川町横山)
定員：約100名

参加申込や詳細は当課までお問合せください
TEL：0235-64-2103 FAX：0235-64-2104

「東北農林専門職大学(仮称)」

令和6年4月開学に向けて設置認可申請中!

県では、将来の日本をけん引する農林業経営者を養成するため、「東北農林専門職大学(仮称)」の開学準備を進めています。農業・森林業の生産や経営、加工、販売等の知識と理論に裏付けられた技術を、講義だけでなく、県内外の先進経営体での長期実習など豊富な実習で学べる新しいタイプの大学です。県立農林大学校(新庄市)の敷地に校舎を新築中で、現在の高校二年生が第1期生となります。詳しくはQRコードからご覧ください。
☎ 山形県専門職大学整備推進課 (TEL:023-630-2480)



新校舎の外観イメージ図



ストップ農作業事故!

- ①施設の点検や除雪作業は、施設の倒壊等の恐れが無いが、作業する足もとに危険は無いが、落石の恐れが無いが等、安全確認を十分に!
- ②万一の事故に備えて複数名で作業を!!

農薬は適正に使用しましょう!

- ☆農薬のラベルは必ずよく読み、定められた使用方法で!
- ☆生産履歴の記帳、農薬飛散の防止、防除機具の洗浄を徹底!

2022 普及 活動トピックス

農業技術普及課では、水田営農の確立、園芸作物の生産性向上、耕畜連携、6次産業化等の取組みを支援しております。令和4年度の主な活動を紹介します。

良質大豆の安定多収に向けて



多収実証圃における大豆栽培技術の現地検討会
(8月30日 三川町・鶴岡市)

大豆の収益性向上を目的として、安定多収技術を推進しています。
昨年は、多収実証圃にて現地検討会を開催し、基本技術を確認するとともに、大雨や干ばつといった気象変動に対応した多収技術について、参加者らが意見交換を行いました。
当課では、今後も気象変動や現場ニーズに応じた栽培技術を提案していきます。

「夏メロン日本一」の産地強化を目指して



JAと普及課によるメロン定期生育調査の様子
(5月6日 鶴岡市)

現在、「第2期庄内砂丘メロン産地強化プロジェクト」に各関係機関とともに取り組んでいます。庄内地域は、7～8月のメロン出荷量が日本一です。この「夏メロン日本一」の産地の強化を目指して、栽培技術の改善（1株5果どりによる多収栽培等）やレシピ集の作成・配布等各種PR活動により、栽培・販売の両輪で取組みを進めています。

庄内柿の大玉安定生産支援



大玉生産実証圃における庄内柿夏季研修会(7月26日 鶴岡市)

庄内柿の産地活性化を支援するため大玉生産技術の高位平準化に取り組んでいます。L級以上比率60%の柿が安定的に生産できる技術を実証するため現地実証圃を設置し、1果当たりの新梢数を摘果講習会で提示するとともに、研修会で実証圃の生育・管理状況を紹介します。今後も大玉安定生産に向けた技術構築に取り組んでいきます。

トルコぎきょうの土壤病害対策支援



土壤病害から回復した圃場(7月6日 庄内町)

大きな減収要因である土壤病害を改善するために、病害対策の導入を推進しています。令和4年は、土壤消毒や土壤改良など複数の対策を実施した圃場について、病害の発生状況や収量を調査し、土壤病害対策の効果を確認しました。当課では、今後も土壤病害の低減による出荷率および出荷本数の向上を目指して支援していきます。

和牛繁殖経営の安定化支援



母牛の栄養度(発育状態)調査(11月4日 鶴岡市)

和牛子牛の安定的な生産を続けるためには、母牛のコンディションを保つことが最も重要です。そこで、太り過ぎたり、痩せすぎたりしないように、分娩前後や授精適期前後の繁殖ステージに応じた飼料給与など、適切な飼養管理について関係機関と連携して指導を行っています。

新規就農者の定着支援



新規就農者等研修交流会(10月12日 鶴岡市)

鶴岡田川地域の新規就農者は増加傾向にあり、昨年は66人です。課題を抱える新規就農者11人に対して継続的に巡回を行う等、重点的な個別指導を実施しています。また、新規就農者や研修生の仲間づくりを目的とした「新規就農者等研修交流会」を開催し、先輩農業者の現地視察や事例発表、そしてグループに分かれて意見交換を行いました。

農産加工品のブラッシュアップに向けて



庄内農産加工研究会研修会(10月4日 当課研修室)

全国各地で加工品づくり支援を行う、(株)職彩工房たくみ 代表尾崎正利氏をアドバイザーに迎え、売れる加工品づくりに向け既存加工品の相談会を行いました。会員相互に食べ方の提案や情報発信方法などアイデアを出し合いました。加工食品の試作や、適正な食品表示、またHACCPの実践について引き続き支援していきます。

産地研究室の研究紹介

ストックの高八重率品種を活用した省力化・安定生産技術

ストック栽培では八重率が収量に大きく影響しますが、特に直播栽培では発芽揃いや八重鑑別作業の遅れ、作業労働の負担等により、八重率の確保が課題となっています。

そこで、八重鑑別の不要なスプレ一系の高八重率品種による省力化や出荷率向上を目的に、7月下旬～8月中旬播種における開花期や品質を調査しています。



高八重率品種「パールフェアリー」
(産地研究室圃場)